

北海道大学留学生センター主催  
第19回北海道大学国際本部留学生センター日本語教育ワークショップ

「文型」ではなく「状況」から出発する日本語教育

講師：野田 尚史 氏（大阪府立大学教授）

これまでの日本語教育は、コミュニケーション能力を高めるためという目的を掲げていても、「文型」から出発し、「文型」を教えることが目的になっていることが多かったと言えます。コミュニケーション能力を高めるためには、「聞く」「話す」「読む」「書く」の教育を別にした上で、現実的な「状況」から出発し、それぞれの「状況」に必要な能力を学習できる教育を行う必要があります。

このワークショップでは、「文型」中心のこれまでの教材や試験問題と、「状況」から出発する新しいタイプの教材や試験問題を比較しながら、コミュニケーション能力を高めるための日本語教育とはどのようなものかを皆さんといっしょに考えたいと思います。

記

と き： 平成23年1月29日（土）、13:00～17:00

※全体は3部構成です。1部は講演、2・3部はワークショップ形式となり、それぞれの間に休憩があります。

ところ： 北海道大学留学生センター会議室（センター内1F）

参加費： 無 料

※ 事前のお申し込みは必要ありません。当日会場へ直接お越しください。

お問い合わせ先： チョン ヘソン（北海道大学留学生センター）

jung@isc.hokudai.ac.jp, TEL：011-706-2181（直通）

oooooooooooo 講師プロフィール oooooooooooooo

野田 尚史（のだ ひさし）

金沢市生まれ

大阪外国語大学（現在は大阪大学外国語学部）でスペイン語を専攻。同大学院から日本語学を専攻。大阪外国語大学で留学生に日本語を教える。筑波大学で日本語教師を目指す学生に日本語文法を教える。現在、大阪府立大学で日本語学関係の科目を担当している。

<主な著書・編著書>

『なぜ伝わらない、その日本語』（岩波書店）、『コミュニケーションのための日本語教育文法』（くろしお出版）、『日本語を書くトレーニング』『日本語を話すトレーニング』（ひつじ書房）など、多数。